

2023年12月

学校法人東放学園
東放学園高等専修学校 殿

2023年度 学校関係者評価報告書

東放学園高等専修学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価委員

【関連業界関係者】

倉本 輝雄 株式会社サンミュージックプロダクション 常務取締役

【卒業生】

川口 はるか 漫画家

【教育、学校運営に関し知見を有する者】

渡辺 雅巳 株式会社ライセンスアカデミー 東日本教育事業部 部長

2. 事務局

清水 大樹	東放学園高等専修学校 校長
田辺 裕章	教務教育部 部長
橋本 光一	学務管理部 部長
米倉 寿雄	入学広報部 部長
山田 未来	教務教育部 主任
佐藤 ひとみ	入学広報部 主任
近江 綾子	教務教育部

3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年 9月15日(金) 14:00～16:00 東放学園高等専修学校 3B教室

4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

※別紙

4. 学校関係者評価結果

【評定の内容】

- 4 : 適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後更に向上させるための意欲がある。
- 3 : ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取り組みが期待される。
- 2 : 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。
- 1 : 全く対応しておらず不適切である。学校の方針から見直す必要がある。

I. 2022年度重点目標について

重点目標 1「交渉活動、Web関連の強化、最適化。入学者数46名以上を目指す」について

総 評	評定
少子化問題が起きている中、入学者数の目標をクリアしているのは評価出来ると思う。 中学3年生の頃に、父から専修学校の存在を教えてもらい、色々と調べた。ホームページを見たり学校見学をしたりしても、「楽しそうだけど、よくわからない」が本心だった。そして、一番心配だったのは「どんな子がいるんだろう…？友達できるかな。馴染めるかな」ということ。好きなことが学べるというこの学校の強みとともに、そういう情報をSNSなどでも伝えることで、入学しようか迷っている方への第一歩に繋がるのではないかと思った。 少子化で学生募集が厳しい中、入学者数目標を達成した。中学校総合学習の時間への講師派遣、広告媒体やイベントへの参加など幅広い広報活動をしている。また情報発信を強化しミスマッチをなくす活動をしている。	4

重点目標 2「カリキュラム再編成、学習評価の意識改革、実施方法への理解」について

総 評	評定
新しいものにチャレンジするのは大変だと思うが、生徒のためにも魅力的なカリキュラムを再構成してほしい。 正直、授業内容よりも教師がどれだけ「この学校に通う生徒に寄り添うことができるか」が重要だと思う。「好きなことができる」をモットーにしているならば、生徒のやる気を削がないことが一番大切である。 新カリキュラムへの対応、学習評価の明確化を行い、教育の向上のために常に改革を行っている。	4

重点目標 3「入学から卒業までのDO率10%未満を目指し、目的のないフリーターを発生させない」について

総 評	評定
目の前の誘惑に惑わされ本来の目的を見失う年齢なので、何かしら変化があったら耳を傾ける、早めに話すことが大切。夏休み等の長期休み明けは休みがちになる子もいるので、きちんと対応する準備をしてほしい。 生徒が信頼している、好きな先生と担任の先生との定期的な三者面談が必要かなと思う。担任の先生やアドバイザーはいるが、私は、あまり関わりが無かったので、言うことが響かなかった。「好きな先生がこう言っているなら、もう少し頑張ってみようかな」という感情が湧く気がする。 1年次から進路に関する情報を提供していくことで、将来のキャリアを考える機会の提供に繋がり、目的意識を持った学生生活になると感じる。また保護者の方への進路情報を発信し、学校、家庭の連携をとり、生徒をサポートする体制が必要と感じる。またメンタル面のケアをスクールカウンセラーを交えながら進めていくことが必要と思われる。	4

Ⅱ. 評価項目別取組状況について

基準1 教育理念・目的・育成人材像

総 評	評価
エンタメ業界の流れは本当に早く、いち早く察知し対応することが大事。さらに大切なことは生徒各々に伝わり理解してもらえるのか、向き合っの教えが大切になってくる。カリキュラムや指導内容の見直しを常に気に留めているのは共感できる。 自分が専攻しているジャンル以外の授業も受けられるのが最大の強みなのではないかと思う。ただ、私が在籍していた時は、1年生が受けられない授業がある、又は本人が受けたいと思う授業がないなどの理由から、別のジャンルの授業を受けていた生徒がいた。高校時代の1年がどれほど貴重で重要かというのを、しっかり考えてほしいと思う。 教育理念に添いながら、社会にニーズ合わせて対応し毎年人材輩出をしている。特にキャリアの視点において、進路指導、ライフプランの指導はとても大きな役割を果たすと思われる。	4

基準2 学校運営

総 評	評価
事業計画は期の途中でチェックや見直しは必要である。情報システムにおいてセキュリティ対策はマストである。1歩先を見据えておきたいところである。 特になし 事業計画を明確化し、運営方針に従い運営を行っている。情報システムに関してはセキュリティ対策への更なる対応も計画している。	4

基準3 教育活動

総 評	評価
時代に左右されてはいけないが、時代の流れは速いので柔軟に対応していきたい。難しさもあるが授業での知識などの教えはもちろんのこと、1人の人間としても成長させたい。「とにかくやってみる」は大切。 「好きなことなら頑張れる」という生徒が多数だと思う。しかし「嫌いなこと」に一番価値があるということを一度は教えてあげべきかなと思う。「バレエは嫌いだけどヒップホップダンスは好き」→でも、片方だけやってる生徒は沢山いるけど、両方極めたら色んな表現ができると思う。自我が強い生徒が多いので難しいかもしれないが、色んな選択肢を提示して貰いたいと思う。その時に興味がなくても、卒業した後に思い出したりもするので。 多様な卒業後進路に対応すべく教育活動を行っている。近年の進路の多様化、入試制度は多種多様になり、毎年制度が変わる中で、生徒への指導のため教職員の先生においては定期的な研修の参加等で最新情報の入手が求められる。	4

基準4 学修成果

総 評	評価
資格の習得は大切。卒業した後に、進学之道を選ぶにせよ就職するにせよプラスになる。芸能界に進んで、その資格が仕事に直結したこともある。 夢に向かってその進路を提示するのも大切だが、私が在学中は「とりあえず東放に入ったけど特にやりたいことも見つからなかったし卒業後はフリーターでいいや」「とりあえず卒業後はバイトしながら夢を追いかけていく」など、具体的な目標がなく卒業していった方々が少なからずいる。今まで好きなことしかしてこなかった人は、そのしわ寄せが卒業後にくる。やはり、自分で調べる力や将来を考える力が弱い生徒も多いと思うので、保護者の方にもきちんと説明をしつつ、先生方が「こういう道はどう？」など、手厚くサポートしてあげてほしいと思う。 資格取得を目標として体制整備し、検定合格者を多数輩出していることはとても重要である。達成することにより、自己肯定感を育むことに繋がると感じる。目標資格を取得することにより、大学入試や就職の際にも有利になると思う。	4

基準5 学生支援

総 評	評 定
やはりお金の問題は避けられない場合もある。生徒の皆さんは3年間頑張ろうと思って入学しているが、いろいろな事情で途中で退学する人も。きっと発信していると思うので早めに察知して対応したい。 この職業で生きていきたい！と本気で思う生徒は少ないのかもしれないが、一度その業界を見学させたり、あるいは挫折を味わったりしたほうがいいかなと思う。在学中に、講師の紹介でイラストアーツ数名でアニメーションのアルバイトをさせて頂く機会があった。「自分はそのままじゃ駄目なんだ」と、自分自身で体験する何かがあると進路への真剣度が高まると思う。 クラスアドバイザー・進路指導担当者中心に学生を支援する体制が整っている。卒業生支援はとても魅力的で卒業生ネットワークを更に強化することにより、学園メリットが強化されより一層の支援体制が整備され、多様な進路実現を提供できると思われる。	4

基準6 教育環境

総 評	評 定
最近各地で地震が増える中、書面だけで伝えるのではなく、避難訓練の実施をしっかりと行っている事は生徒のためになるので良いことだと思う。施設・設備に関して、空調やマイクや照明などを新しくし、授業をしやすい環境作りは生徒のためになる。 申し分ないと思います。在学中も大分好きに使わせていただきました。 毎年、教育環境整備に取り組まれている。防災セキュリティに関しても取り組みを強化している。また保護者との連携強化のための取り組みもしている。	4

基準7 学生の募集と受入れ

総 評	評 定
学校をどれだけ認知していただくか、そのためにはどれだけ魅力的なカリキュラムをたてられるか。HPでの見せ方やSNSの活用は、入学への入口になるので力を注ぎたい。生徒さん目線での募集をしているので伝わると思う。 重点目標1の改善方策に書かれている通り、「中学校の教職員から賛同を得られるように…」とあるが、正直言って、「専修学校」という言葉すら出てこなかった。なので、やはりSNSなどで生徒自身に知ってもらう他はないと思う。在学中のモデルさんとかが紹介してくださったりとか、中高生のインフルエンサーにPRしてもらおうとか…そんな簡単なことではないと思うが、「魅力的な子が紹介している」というのが重要な気がする。 中学校訪問や生徒募集広報にご尽力されたので、今年度は募集目標を達成できたと感じる。中学校卒業時の進路選択の一つとしての認知度アップについては継続して行う必要はある。	4

基準8 財務

総 評	評 定
予算執行・管理などは各担当者が上長と密にコミュニケーションをとりそれぞれの向上に尽力していると思う。 特になし 財務情報をホームページに公開し、わかりやすい表記に更新するなどしている。	4

基準9 法令等の遵守

総 評	評 定
生徒各々の個人情報を持っているので管理体制は徹底したい。それこそ信頼関係、学校不信になりかねない。ハラスメントは誰にとっても深刻な問題だと思う。報告・相談しやすい環境作りを徹底してほしい。 特になし 法令遵守に関する必要事項や対処について、適切に行っている。	4

基準10 社会貢献・地域貢献

総 評	評 定
積極的に地域貢献やボランティアに取り組んでいるのはすごく良いことだと思う。どうすれば生徒個人個人が自主的に参加してくれ、その魅力や楽しさや面白さなどを感じてくれるか？難しい面もあるでしょうが、この先も取り組んで欲しい。その経験がこの先必ずいきる。 ボランティア活動があったのを学校関係者評価委員会で初めて知った。活動を知ってもらうためにも、ある程度強制力がないと…と思ったが、それだとボランティアにはならないだろう。学校に通っていたからわかるが、授業でもない限り殆どの生徒はやらないと思う。ただ、学校側が月1でやる！など決めてしまえば、なんだかんだ面倒くさがりながらも「友達と一緒になら！」と、やってくれる生徒は沢山いると思う。たまにサボると思うが、根はさやしい生徒たちで溢れている。 ボランティア活動を奨励し活動を支援している。コロナ禍ではさまざまな制限があったかもしれないが、今後は更なる地域との関わり、ボランティア活動など学校外での活動強化が必要と感じる。	3

所感

生徒の夢や目標にどれだけ対応できるか、どれだけのメニューを提示できるか？3年間の学園生活がどれだけ充実しているかが大切なことだと思う。教職員の方々もそれを十分理解し行動に起こしている事をこれからも続けて欲しい。 色々とお話させていただいたが、なんだかんだで東放に通った3年間はとても楽しかったもので、生徒さんたちが楽しく過ごせるのが一番かなと思う。一卒業生として心配事は色々あるが、私なんかよりも先生の方がもっとも心配されていることかと思う。同年代と比べて精神年齢が低いのか「あれが嫌いこれが嫌。好きなことしかやりたくない」という、生徒が私の在学中は多かったが、でも一つも好きなことがない人は絶対いないので、「ダンス」が好きなら、そこから枝分かれして「ダンスでも色んな仕事があるよ」「こんなこともできるよ」など、専門的だけど幅広い知識を持っている先生、それを生徒に根気よく提示してあげることができる先生がとても重要になるかと思う。生徒の興味が沢山広がって卒業していった欲しい。 少子化の中、年々学生募集は苦労していくことが予想される。その中で必要なのは教育の質を強化し、生き生きとした卒業生を輩出することが、学校の魅力・学校運営においてとても大切だと感じる。社会ニーズ変化への対応・進路多様化への対応など、毎年の変化に対応していくことはとても大変だと感じるが、リスクを恐れず生徒のための改革を常に進めて行ってほしいと感じる。
